

[連載] 第12回

清々しき人々

月尾嘉男 (東京大学名誉教授・工学博士)

自力で四日市港を建設した 稲葉三右衛門



稲葉三右衛門 (1837-1914)

民間が開発した港湾

人間の生活を維持するためには食料をはじめ様々な物資が必要...



図1 四日市港



図2 稲葉夫妻を記念する町名



図3 新港の潮吹堤防

伊勢湾奥にあり、現在では貨物の取扱重量で日本の一五番目の地位にある国際拠点港湾の四日市港...

港湾の再興を目指した三右衛門

江戸時代には、沿岸航路は多少利用されていたものの、海運は重要な手段ではありませんでした...

繁盛している廻船問屋の主人とはいえ、民間人が実行するのは巨大な事業を遂行するための費用を調達する必要がある...

度重なる苦難を乗り越え完成

これを廻船問屋を経営していた稲葉三右衛門にとって重大な問題であっただけではなく、地域の発展にとっても暗雲が...

当時の横浜港は汽船が沖合に停泊し、小舟で海岸まで乗客や貨物を輸送する後進状態でした...

四日市港は十分な水深のある波静かな天然の良港としてみよ世紀から利用されてきました...

を改修する決意をします。まず明治三年、すでに開港から一一年が経過していた横浜港を視察し、オランダの技師から測量や築港の技術を取得しました...

大月書店の最新刊

東京都文京区本郷2-27-16 電話03(3813)4651<代> メールマガ配信 http://www.otsukishoten.co.jp/

自然と生きもののねだん

藤田千枝 編/新美景子 著

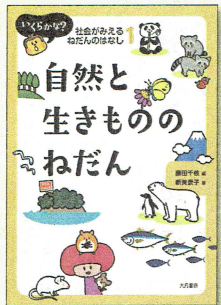
ハツカネズミ200円・実験用マウス2万円、富士山の入山料1000円・エレベーター120万円、水道水1杯0.05円...

小学校高学年〜フルカラー第1巻 2000円(税別)

[続巻]

- 2巻 いのちと福祉のねだん
3巻 くらしと教育のねだん
4巻 スポーツと楽しみのねだん
5巻 リサイクルと環境のねだん
6巻 戦争と安全のねだん

全6巻 刊行開始



14歳からの天文学 福江純 著

有斐閣 大人のための社会科学 未来を語るために

日本評論社 https://www.nippon.co.jp/ 〒170-8474 東京都豊島区南大塚3-12-4 ☎03-3987-8621

〒101-0051 千代田区神田神保町2-17 TEL 03(3265)6811 [定価は税込金額]



図4 稲葉三右衛門立像



図5 稲葉翁記念公園



図6 稲葉三右衛門君彰功碑

した。これにより年間二五〇〇円、八年で二万円を確保し、港湾施設の建設費用四万五〇〇〇円の半分程度を回収できるはずでした。

町民は反対して協力せず、資金の調達も困難になり、開始しませんでした。

その熱意とは裏腹に、四日市町の町民は反対して協力せず、資金の調達も困難になり、開始しませんでした。

「四日市波止場建築伺」を三重県から大蔵省に提出したところ、当時の大蔵省事務総裁参議であった大隈重信から異議があり、物品に課税するのではなく、入港する船舶から徴税するようにという内容の返答でした。

この決定を不服とした三右衛門は、翌年、三重県を相手に大阪上野裁判所に提訴します。それにもかわからず三重県は工事を継続していましたが、その年末に全国各地で発生した地租改正への反対運動が三重にも波及し、「伊勢暴動」といわれる騒動によって工事は中断せざるを得ない状況になってしまいました。

「旧港」と名付けられ、その完成直後から「新港」の建設の検討が開始されます。しかし完成から五年後の強烈な暴風により堤防が決壊し、その修復に資金が消費されたうえ、同年に全通した東海道線の影響で海運が減少し、潮吹堤防をもつ新港の建設はようやく明治四三年に開始されました(図3)。

この決定を不服とした三右衛門は、翌年、三重県を相手に大阪上野裁判所に提訴します。それにもかわからず三重県は工事を継続していましたが、その年末に全国各地で発生した地租改正への反対運動が三重にも波及し、「伊勢暴動」といわれる騒動によって工事は中断せざるを得ない状況になってしまいました。

この決定を不服とした三右衛門は、翌年、三重県を相手に大阪上野裁判所に提訴します。それにもかわからず三重県は工事を継続していましたが、その年末に全国各地で発生した地租改正への反対運動が三重にも波及し、「伊勢暴動」といわれる騒動によって工事は中断せざるを得ない状況になってしまいました。

この決定を不服とした三右衛門は、翌年、三重県を相手に大阪上野裁判所に提訴します。それにもかわからず三重県は工事を継続していましたが、その年末に全国各地で発生した地租改正への反対運動が三重にも波及し、「伊勢暴動」といわれる騒動によって工事は中断せざるを得ない状況になってしまいました。

この決定を不服とした三右衛門は、翌年、三重県を相手に大阪上野裁判所に提訴します。それにもかわからず三重県は工事を継続していましたが、その年末に全国各地で発生した地租改正への反対運動が三重にも波及し、「伊勢暴動」といわれる騒動によって工事は中断せざるを得ない状況になってしまいました。

この決定を不服とした三右衛門は、翌年、三重県を相手に大阪上野裁判所に提訴します。それにもかわからず三重県は工事を継続していましたが、その年末に全国各地で発生した地租改正への反対運動が三重にも波及し、「伊勢暴動」といわれる騒動によって工事は中断せざるを得ない状況になってしまいました。

この決定を不服とした三右衛門は、翌年、三重県を相手に大阪上野裁判所に提訴します。それにもかわからず三重県は工事を継続していましたが、その年末に全国各地で発生した地租改正への反対運動が三重にも波及し、「伊勢暴動」といわれる騒動によって工事は中断せざるを得ない状況になってしまいました。

### 四日市町発展の恩人として顕彰

波乱万丈の経緯でしたが、三右衛門四七歳の明治一七年に波止場と埋立地が完成します。その工事費用は当初の八万二千五〇〇円を大幅に超過する二〇万円になりました。現在の価格では約一〇〇億円にもなり、三右衛門は巨額の負債を背負うことになりました。しかし工事の完成から四年後の明治二一年に三右衛門に藍綬褒章が授与された以外に、苗字を使用した「稲葉町」と、伴侶の名前たかを反映した「高砂町」も命名されています(図2)。



毎年八月初旬の週末に「大四日市まつり」が開催されますが、それは中央通りに設置された稲葉三右衛門の立像に献花することから開始されます。四日市市が県庁所在地の津市を上回る人口三十一万人の三重県最大の都市に成長した背景は四日市港を基盤とする工業と流通の発展ですが、それを実現させたのは、功利や功名を期待するわけでもなく、郷里の発展のために私財すべてを投入した一人の商人の情熱だったのです。

維新以後の日本が五〇年という短期で大団に成長できたのはそれらの人々の活躍だけではなく、今回紹介した稲葉三右衛門のような市井の人々の、最近の社会では忘却されつつある、国家や地域のために最大の目標にして奮闘してきた無私の精神です。

◆参考文献  
大隈重信「私財をなげうって四日市港を築港した男」稲葉三右衛門(みなの偉人たち)ウエイツ(二〇〇八)

最近、PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)という言葉が登場しています。道路や港湾など公共施設は中央や地方の政府が建設し維持するのが一般です。しかし、財政逼迫により、その仕組が困難になり、解決の方法として、民間の資金や能力を活用しようという発想です。稲葉三右衛門が四日市港の実現のために実行した行動は、まさにPPPの先駆者ということが出来ます。その視点でも重要な価値のある歴史的な大事業でした。

来年は明治維新一五〇年になりますが、それを契機に全国各地の由縁ある地域で記念行事が計画されています。その大半は維新という革命を達成した英傑が主役となる事業です。しかし、

「新しい働き方」から「新職業」  
今後「なくなる仕事」など  
池上解説で最新の潮流がよくわかる!

大好評のロングセラーが最新改訂・新装版で登場!

**池上彰** **やりました仕事がある!**

仕事やりたい **ある!**

もともと **池上彰** 著・監修 定価(本体)1,800円+税

就活応援プレゼントにも最適!

小学館 小学館読者サービスセンター TEL.03-5281-3555 <https://www.shogakukan.co.jp>

**幸福実感社会への転進**

月尾嘉男 著 四六判・181頁 本体1,200円+税

「めざす頂上」を明確に見据える者こそが、高山を踏破する! 100年先の未来を見据え、日本の可能性を探る。

第1章 「足元の宝」を発掘せよ——国家再興の戦略を考える  
第2章 「不易流行」を見極めよ——産業の明日を考える  
第3章 「開拓の精神」を思い起こせ——地域創生の戦略を考える  
第4章 「歴史の教訓」に学べ——文明社会の明日を考える

発行: 公益財団法人 **モロロジー研究所** お求めはオンラインショップにて <http://www.ecmorology.jp/>  
発売: 学校法人 **廣池学園事業部**  
〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1 TEL.04-7173-3155(出張部) FAX.04-7173-3324